

家庭学習のすすめ

～平成22年度版～

荒川区立赤土小学校

学校と家庭とのコラボレーション

校長 安齋 正彦

★学校と家庭の協働は基礎学力の習得に欠かせません。学校では普通の授業の中で「漢字練習」「読書の取り組み」「計算練習」など繰り返し学習を進めています。家庭学習では学校で学んだことをもう一度学習して基礎的・基本的な学力の定着を図ることができます。

★毎日少しずつ家庭学習を続けていくと次第に習慣となってきます。そのためには、保護者の皆様からの「がんばってるね!」「よくできたね!」などの励ましのかかわりが大切です。

★こうした温かい親子の会話から、子どもは励まされて勇気と活力をわき立たせることができます。ぜひとも声をかけていただきたいと思います。

★基本的な生活習慣(早寝・早起きの習慣や朝食、歯磨き、ゲームの時間等)が身に付いている子は学力も高いという結果がでています。基本的な生活習慣の育成は心と体を支える面で大切なことは勿論ですが、学力を支える大切な条件です。

★学習習慣(宿題、家庭学習、読書、学校の準備、忘れ物等)が身に付いている子や自分を肯定的にとらえている子は学力が定着しており、学習習慣なども学力を向上させる大切な要素です。

◎この「家庭学習のすすめ」は「知・徳・体のバランスのとれた生き生きとした赤土っ子」を育てたいという切なる願いをもって作成しました。このリーフレットを活用し、家庭教育の充実を図っていただければ幸いです。

家庭学習5つのすすめ

- 1 「本に親しむ」ことで**集中力**をつけましょう。
- 2 「漢字」を覚え、「計算力」をつけながら**やる気**を育てましょう。
- 3 「親子の会話」から**善悪の判断**を育てましょう。
- 4 「しっかり寝て食べ、規則正しく生活すること」で**学ぶ元気**をつくりましょう。
- 5 友達と仲良く遊び、家族と語り合うことで**生き方**を学ばせましょう。

ねん
年

くみ
組

なまえ
名前